

防災・安全ニュース

VOL. 3

危機管理課

2023年7月号

電話65-1282

先月は、本邦に台風が2つ接近し、台風第2号では梅雨前線と相まった大雨で犠牲者が出るなど、大きな被害をもたらしました。風水害は、事前の準備と積極的な情報入手による早めの避難が自分（家族）の命を守ることに直結しますので、実践をお願いします。では、今月号もよろしくお付き合いください。今月号のトピックスは次のとおりです。

- ・ 鹿森ダムのサイレン
- ・ 発生件数の最も多い交通事故
- ・ 防災センターからのお知らせ
- ・ 台風の危険半円と可航半円

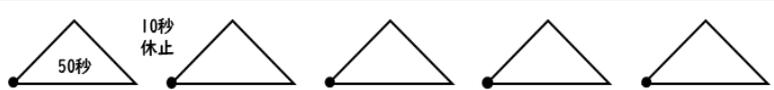
鹿森ダムのサイレンについて

鹿森ダムでは、ゲートから放流を行う前にサイレンを吹鳴します（下図のとおり）。

このうち、大雨でダムに流れ込む水量が非常に多く、ダムに貯められる最高の水位を越えそうな時には、「異常洪水時防災操作」（ダムに流れ込む水量と放流する水量を同じにする操作）を行うため、「通常時」よりも短間隔のサイレンを吹鳴します。

サイレンが鳴る前には、放流警報局のマイク放送、警報車やTVのニュースなどでもお知らせがあります。ダムの放流時には、川の水位が増して危険ですので川に近づかないようお願いします。

サイレンパターン（放流開始前に5分間吹鳴）は下図のとおりですが、実際の音をお聞きになりたい方は愛媛県HP（https://www.pref.ehime.jp/tou40116/siren_change.html）をご参照ください。

| | |
|-----------|--|
| 通常時 |  |
| 異常洪水時防災操作 |  |

関連サイト（鹿森ダムパンフレット）

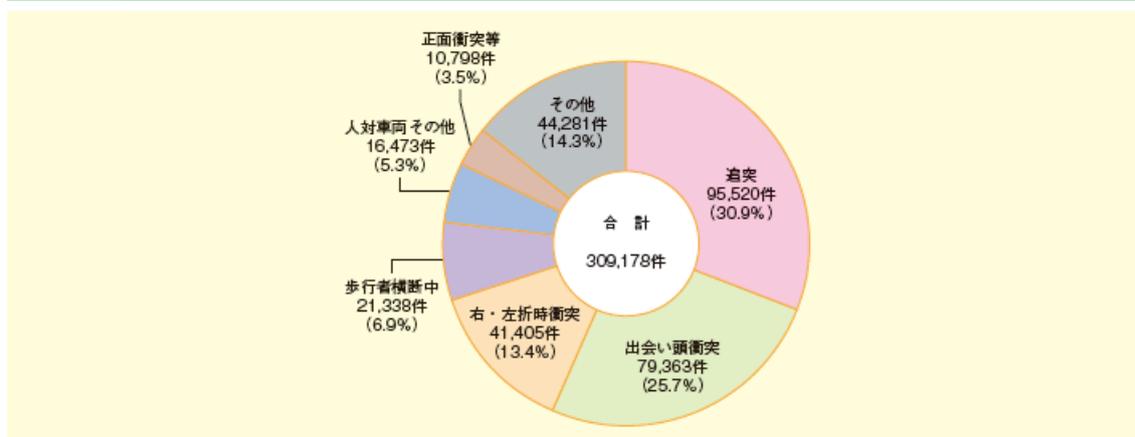
<https://www.pref.ehime.jp/tou40116/documents/20230222.pdf>

発生件数の最も多い交通事故は何？

下の円グラフにあるとおり「追突」（令和2年）です。追突事故を防ぐひとつの対策は、車間距離を長くすることです。有効な車間距離は車の速度によって変化しますので、距離で測るよりも時間で2秒以上の間隔をあげると良いようです。実際には、前車が通過した目印を自車が通過するまでの時間が2秒以上ということです。また、数えるときは「イチ、ニ」だと1秒ぐらいになってしまいますので、「ゼロイチ、ゼロニ」と数えると2秒ぐらいになります。

車間距離を詰めても目的地に早く着くことはありません。また、事故を起こすと時間もお金もたくさん失い、時には命も失いかねません。車のハンドルを握ったならば、心にゆとりを持った運転をよろしく願います。

▶第1-5図 事故類型別交通事故発生件数（令和2年）



- 注 1 警察庁資料による。
2 「人対車両その他」とは、人対車両の事故のうち、歩行者横断中以外の事故をいう（対面通行中、背面通行中、路上横隊等）。
3 「正面衝突等」とは正面衝突、路外逸脱及び工作物衝突をいう。
4 () 内は構成率である。

防災センターからのお知らせ

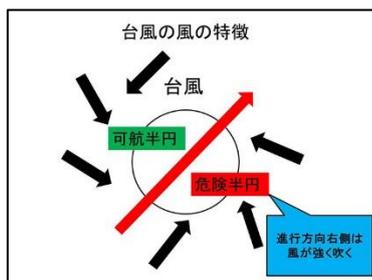
消防防災合同庁舎の防災センターでの災害体験は、**7月と8月の毎週木曜日に18:00からのコースを追加**で実施することとしましたので、お誘い合わせの上、お越しいただければ幸いです。

台風の危険半円と可航半円とは何？

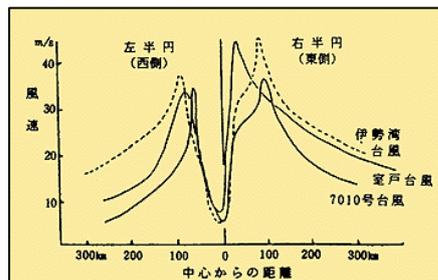
台風は巨大な空気の渦巻きとなっています。台風の進路の右側は「危険半円」といって、台風自身の風速に台風の移動速度が加わっ

て強風となります（模式図）。逆に左側は「可航半円」といって、台風の移動方向が台風自身の風とは約180°逆になるため、風速がやや弱まることから比較的安全に船が航海できるとされています。

航空機の運航についても同様のことがいえますが、米国には気象観測のために積乱雲の中をハリケーンの目に向けて直進する飛行部隊があります。この部隊は、過去にグアムを拠点として日本周辺で台風の観測もしていた時期があります。



模式図



左右半円の風速

【編集後記】

今月も防災・安全ニュースを最後までご覧いただきまして、ありがとうございました。

梅雨のこの時期、「明日は晴れて欲しい!」と思い、てるてる坊主を軒先につるしたことがある方もいらっしゃるのではないのでしょうか?

てるてる坊主は江戸時代の書物によると、顔を描かずにのっぺらぼうでつるし、願いがかなったときに目鼻を描くとなっているそうです。これまで晴天の願いが叶わなかった方は、先に顔を描いてしまったからかも知れませんね。 (N.O)